

HF GV2 RX01シリーズ

近年、携帯電話や、タブレット型コンピュータなどに代表されるモバイル情報端末のディスプレイは、本体の薄型化に伴い従来のアクリル板から薄型の強化ガラスへ移行しています。こうした市場動向の中、強化ガラスへのスクリーン印刷が主流になっております。弊社では強化ガラス用インキとして、2液硬化型のインキを開発いたしました。これらのインキは、塩素 700ppm 以下、臭素 700ppm 以下、総ハロゲン量 1100ppm 以下で構成されており、環境に優しいインキとなっております。また、電気が通りにくい性質も持ち合わせております。

タイプ

2液焼き付け乾燥型

特徴

2液反応型焼き付けインキのため作業性に優れています。
平滑性に優れ、グロス（光沢）の仕上がりとなります。

希釈溶剤

標準溶剤 T-980

洗浄溶剤

T-31

印刷

スクリーンメッシュ テトロン 250～420 メッシュをお勧めします。

添加剤混合

混合比 HF GV2 インキ： CARE 182=100：2

乾燥時間

150℃×30min 以上推奨

その他

- ・添加剤は、指定された割合で混合攪拌し、溶剤で希釈して粘度調整をしてください。
- ・印刷時に泡が発生する場合は CARE 111 を 1%程度混合してお使いください。
- ・HF GV2 シリーズは、外気の影響や経時変化によって性能が薄れてくる場合があります。その場合は CARE 182 を 1%以内で補充してください。
- ・ポットライフは 7 時間程度になりますので、それ以上経過した場合は使用しないでください。
- ・長期保存のインキの場合、性能をお確かめの上ご使用して下さい。

参考資料 (性能表は弊社での試験値であり、性能を保証するものではありません。)

印刷被膜性能表

試験項目	試験内容	評価
密着性	クロスカットセロテープ剥離	100/100
硬度	鉛筆硬度 45° (荷重 750g)	4H
耐アルコール性	IPA ラビング試験 1kg×20 回	異常なし
耐高温高湿試験	60±2°C 95±2% 240hr	異常なし
耐煮沸性	沸騰水中に 30min 後に密着試験	100/100
隠蔽性	テロン 420 メッシュにて OD 値測定	4.0 以上
抵抗値	印刷面を産業技術センターにて測定	1×10 ¹³ Ω 以上 ※注 1
耐候性	キセノンウエザオ	2000 時間合格

※注 1 抵抗値は 13 乗以上になりますと、周りの環境(温度や湿度等)により、値がブレますので、ご注意ください。

試験条件

インキ : HF GV2 710 ブラック
 素材 : 強化ガラス(3 種類)
 スクリーン : テトロン 420 メッシュ
 スキージ : ウレタン中硬
 印刷 : 手刷り
 混合比 : GV2 710 : CARE182=100 : 2
 稀釈率 : 10%
 乾燥 : 150°C×30min